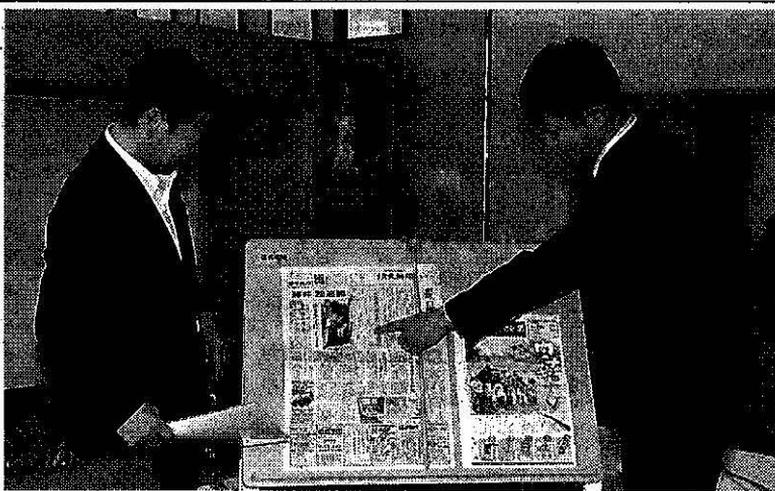


小中学校に新聞閲覧台

小杉新聞堂寄贈「興味持って」

伊東市宮川町の小杉 本社(本社・東京都千代田区)は23日、児童新聞堂と読売新聞東京(代田区)は23日、児童



市長に新聞閲覧台の解説をする畑沢社長(右)＝市役所

・生徒への新聞普及のため、新聞閲覧台を市立小学校10校、中学校5校に贈呈した。小杉新聞堂の畑沢巨社長(53)が市役所を訪れ、小野達也市長に実物を見せ、目録を手渡した。

小杉新聞堂は読売新聞を主に取り扱う新聞店。同社では全国の小中学校に3700台寄贈している。県内での寄贈はまだ少なく、沼津市に次いで2件目となった。

畑沢社長は「閲覧台は子どもの視界にも入るので、見るだけでもいいから新聞に興味を持ってほしい」と話し、

小野市長は「立派なものをお願いしたい。子どもたちの活字離れを防ぎたい」と感謝した。

新聞閲覧台は身長に合わせて高さを3段階に調節できる。来週から同店が市内の小中学校に配るといふ。

メジャー

28日に「白紙求める」

市長、反対団体と意見交換

伊東市は23日、八幡野地区に計画されている大規模太陽光発電施設の設置に反対する団体と意見交換するため第2回研究会を市役所で開いた。小野達也市長は「今月28日に事業者と会って市民の意見、思いを伝え、計画の白紙撤回を求めていく」と話した。

伊東市は23日、八幡野地区に計画されている大規模太陽光発電施設の設置に反対する団体と意見交換するため第2回研究会を市役所で開いた。小野達也市長は「今月28日に事業者と会って市民の意見、思いを伝え、計画の白紙撤回を求めていく」と話した。

林伐採によって保水力が低下する。景観が破壊されるだけでなく、土砂が八幡野川から海に流れ込むことで漁業やダイビング業が大きなダメージを受ける▽事業者が信頼できない。同課によると、反対理由の主なものは▽森計画もずさんなど。市はこれらの意見を事業者に伝え、小野市長あいさつで不安材料、りまとめてつける。そして、3回研究会を開催述べた。